

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 気管支喘息における臨床的寛解(Clinical Remission)に関する研究

### 研究の目的

気管支喘息の治療は、吸入ステロイドと吸入気管支拡張薬 2 種類の 3 剤合剤の吸入薬や、生物学的製剤の出現で大きく進歩しました。非常に症状が改善して落ち着いた状態(寛解)を見据えた治療へと移行できるようになってきました。最近では気管支喘息において、発作がない、全身ステロイド投与がない、呼吸機能の安定化、症状が良好にコントロールされている、という 4 点を達成している状態である臨床的寛解が治療目標となってきました。この気管支喘息における臨床的寛解についての研究は少しずつされていますが、まだまだわからないことが多いのが現状です。今回、当院に通院中の気管支喘息患者における臨床的寛解について調査を行い、個々の患者に適したよりよい治療の選択を目指していきます。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2026 年 9 月 30 日

対象となる方： 2023 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの期間、当院呼吸器内科を受診し、気管支喘息と診断された 18 歳以上の患者さん（性別不問・認知機能に障害のない方）

### 利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

本研究は、当院のカルテに記録されている情報のうち、身長、体重、採血データ、呼吸機能検査結果、呼気 NO 検査結果、年齢、発症年齢、性別、重症度、合併症、基礎疾患、吸入薬・内服薬・抗体製剤の投与薬物情報、質問法の結果(ACT など)、喘息発作の有無、入院の有無、咳嗽・喀痰などの症状の有無、喫煙歴、罹患期間、吸入指導歴を利用します。氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して、上記の項目を利用し解析します。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	呼吸器内科・感染症科 糸賀正道 内線 4380/mail gacchi86@hirosaki-u.ac.jp
-------	--